

壁紙施工要領書

- ルナファーマー・フリース -

■ 特長

自然素材である紙を使用した塗装用紙壁紙です。

■ ルナファーマー施工上の要注意点

- ①接着剤はたっぷりつけること。（特に耳の部分は多い目に）
- ②糊付け後、あまり長く放置しないこと。
- ③ジョイントは突き付けで貼ること。
- ④目地処理にボンドコークの使用は絶対避けること。（入隅や枠との取合いは除く）
- ⑤気温 5℃以下、あるいは湿度 85%以上の日の施工は避けること。

■ 下地調整

- ・大きな素穴や継ぎ目等がある場合はパテ処理を施し平滑にしてください。
 - ・吸い込みの大きい下地には必ずシーラーを塗布してください。
 - ・その他、油類、ホコリ等は拭き取ってください。
- （ボード下地等の継ぎ目にはパテ処理時テーピングしてください。）

■ 裁断

- ・施工する箇所の上下の長さに応じて、実測寸法より 5～6 c m長めに切ってください。

■ 接着剤

- ・接着剤は原液タイプをお勧めします。希釈タイプ使用の場合は、糊：水＝10：6 にエチレン酢ビ系ボンドを 10～20%程度混合してください。（このエチレン酢ビ系のボンドを混合しますと、接着剤の乾燥が早まりアイハギの発生時間も早くなりますので注意が必要になります。）
- ・特に端の部分は乾燥が早いので多い目に塗布してください。

■ オープンタイム

- ・接着剤塗布後、30 分以内で施工してください。養生用のパック等の使用をお勧めします。ただし、商品自体の伸縮性はほとんどありませんので、糊付け後すぐの施工は可能です。
- ・養生の際は、タタミジワ防止のため壁紙は大きくたたみ、上積み等は避けてください。

■ 貼り付け

- ・施工する面に垂直線を定め、その線に沿って上端をしっかりと固定し貼り付けてください。
- ・2 枚目からは突き付けで貼り、ジョイント部はローラーで十分におさえてください。（紙が重ならないように注意してください）
- ・入隅は必ずカットしてください。（廻り貼りしないでください）
- ・目地が開いた場合、ボンドコークの使用は避けてください。（入隅、枠回りは除く）
- ・初期接着が弱いので、天井部での施工時は 2 人で作業してください。
- ・ジョイント部に段差が生じる場合がありますが、塗装をすることで目立たなくなりますので、無理に合わせる必要はありません。（フリースのエンボスはつぶれづらくなっています。）

< 塗装 >

- ・貼付け後、十分に乾燥してから（最低 8 時間）水性エマルジョン系塗料をローラーまたは刷毛で塗ってください。
- ・巾木や枠の養生をしっかりとし、塗り収めはまっすぐの線を出してください。

< 補修 >

- ・塗装後、ジョイントが目立つ時は、その面をもう一度塗装して下さい。（艶あり塗装の場合は艶ムラを防止するため若干薄めて下さい。）
- ・塗装時、浮きが生じたら、その部分を剥がし、糊を塗布し、貼り付けた後、塗装してください。
- ・汚れた時は中性洗剤で拭いてください。
- ・汚れが取れない時は再塗装してください。塗装は 10 回程度可能です。